

## 開発途上国の発展を支えるリーダー候補たち

### こども食堂で過ごした気づきを多文化共生社会実現に活かす

国際協力機構関西センター (JICA 関西) は、「こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくる」というビジョンを掲げる、認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえと協働し、こども食堂を通じた多文化共生社会の実現を目指すプログラムを実施しています。

関西圏の大学院に通う開発途上国からの JICA 留学生 (※1) 9 名が、2024 年度中に数か月にわたって神戸市内のこども食堂 (※2) に通い、子どもたちや運営スタッフとの交流を深めてきました。この体験から得た気づきや学びを発表し、一般市民の方と一緒にこども食堂を通じた多文化共生社会の実現について考えるイベントを大阪市内の 2 会場 (うち 1 会場は大阪・関西万博内) で開催します。

地域コミュニティとの交流機会を通じて、JICA 留学生自身が日本の文化や社会課題を学び体験するとともに、双方の心の交流にもつながっていく可能性も見えてきました。

今回のイベントでは、参加した留学生と彼・彼女らを受け入れたこども食堂のスタッフの皆さんから実体験をお話いただき、留学生の心境の変化や、言語の壁や食文化の違いなどをどのように乗り越えたのかをお伝えします。

また会場では、JICA 海外協力隊から集めた世界各地のごちそうの動画や写真をメタバース空間にて共有する「世界のごちそう MAP」も体験できます。こども食堂が世界とつながり、世界各地のごはんの様子から、「食べる」ことや「食事」について改めて考えるきっかけを創ります。

留学生やこども食堂の運営スタッフたちの生の声をお届けしますので、取材をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

#### ※1 : JICA 留学生について

JICA の人材育成プログラムで来日し、日本の大学院 (修士課程あるいは博士課程) を通じ、母国の開発に寄与するために総合的かつ高度な技術や知識の習得を行っている、開発途上国の行政官、研究者、民間企業出身者などです。JICA 留学生は、将来国の発展を支えるリーダーとなることが期待されており、また、自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。

本プログラムに参加した留学生の出身国は、バングラデシュ・エチオピア・ガーナ・ブラジル・ベナン・コートジボワール・シリアです。

#### ※2 : 神戸市内のこども食堂について

本プログラムにご協力くださったこども食堂は、いずれも神戸市灘区に所在する「つなぐおにぎり食堂」「よる・あーち」「つばめふれあい食堂」です。イベントでの発表の際は、「つなぐおにぎり食堂」と「つばめふれあい食堂」の運営者・スタッフが登壇予定です。

## プログラム内容：

5月24日(土)		
会場：(公財)大阪国際交流センター3F 会議室いちよう(大阪市天王寺区)		
時間	内容	備考
13:30~14:30	パネルトーク JICA 留学生が感じた「こども食堂」の魅力	逐次通訳あり
14:30~15:30	グループトーク みんなで話そう！地域活動と多文化共生	

6月7日(土)		
会場：大阪・関西万博会場内(西ゲート側)※3		
フューチャーライフヴィレッジ フューチャーライフエクスペリエンス		
時間	内容	備考
13:30(開場)	世界とごちそうでつながろう	逐次通訳あり
① 14:00~14:45	ーJICA 留学生と考えるこども食堂と多文化共生ー	
② 15:30~16:15	①、②とも同じ内容でステージ発表を行います、それぞれ登壇する留学生は異なります。	

※3：6/7(土)大阪・関西万博会場の取材をご希望の方へ

- JICA 関西から取材パスの発行はできかねます。ご自身で取材パス、もしくは万博入場チケットを手配いただき、取材をお願いいたします。
- 本イベントへの事前予約は不要です。ステージの時間に会場にお越しください。留学生、こども食堂運営者・スタッフへの個別取材も可能です。お気軽にお問い合わせください。

## 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 大阪デスク トランティ美佳(トランティミカ)  
 TEL: 080-8506-3716 E-mail: jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp

JICA 関西 開発大学院連携課 花木仁奈  
 TEL: 078-261-0388 E-mail: ksictp2@jica.go.jp